

(公財)神戸大学六甲台後援会だより (67)

緊急事態宣言解除の中での後期開始

令和3年度になって以来、ずっと続いていた緊急事態宣言が、9月30日をもってようやく解除され、六甲台キャンパスも元に戻るかと思われた中で後期・第3クォーターが始まりました。ただ残念ながら、一部対面での講義が開講されるようになったものの、まだほとんどの講義はオンラインで実施され、通常のキャンパス・ライフは戻ってきません。特に、これから冬へと向かう寒くなる季節となるために、マスクミではコロナ感染症の第6波がやってくるのではないかといわれている。最中の後期の出発点で、大学本部は慎重になっているのかもしれない。学生も、ここまでのオンライン講義になれてしまったためか、大学に出てくることの億劫さからか、オンラインあるいはオンデマンドで好きな時に講義を聞ける方がよいとの傾向を示しています。特に少人数のゼミ・演習は対面で行っているのですが、コンパ等の会合は規制されているためか、大学に出てくることに面倒くささを感じているようです。いままさら大学に出てきて見知らぬ人間と一緒に何かをするということが、特に面倒になっていくような気がします。日常生活同様、大学生活も、従来のもとはコロナが去っても大きく変わってしまうのかもしれない。

まだまだ日常生活は戻らず

多様性社会を標榜したオリンピック・パラリンピック大会では、多くの外国人選手がLGBT等であるとのカミング・アウトを行い、性的少数者の立場が公にされるようなことがありましたが、日本の政治では、性的少数者に配慮し理解を促進するための法案が国会への提出を見送られたり、今回の総選挙で女性議員の数は伸びず、逆に減少するとの結果であったり、最高裁判所が国会にボールを投げた選択的夫婦別姓問題に消極的な候補者が多く当選するなどの結果もあり、今後の日本社会の多様性はどうか懸念されるどころです。また、政府要人が海外に行っても待機期間もなくすぐに仕事、日常生活に復帰しているにもかかわらず、我々一般市民には、海外に行くことも認められず、行っても帰国後には仕事や日常生活に支障をきたすような待機期間が課せられるような状態が続いています。それらについては何の説明もなく、2019年までの日常生活、大学教員や学生にとっては海外との研究交流は、まだまだ戻ってきそうにないのが現状です。キャンパス・ライフと共に、不便な日常生活を強いられている一般市民にとっては、なかなか元の生活に戻ることができないのでしょうか。オンラインでセミナーやシンポジウムが開催されていますが、そこには時差もあり不便な研究活動が続いています。

気の毒な学生たち

そのような不便なキャンパス・ライフの中で、2020年度に入学した大学院博士前期課程の学生は、非常に気の毒な状況

に置かれています。入学以来、ほとんど講義はオンラインで、指導教員にも対面で指導を受けることもなく、また、図書館も満足には使えず、同級生にどのような学生がいるのかもわからないまま、研究に従事しなければならないというえに、もう修士論文を執筆して提出しなければならぬ時期が近づいています。特に六甲台には多くの外国人大学院生がいるはずですが、日本に入国することもできず、神戸大学を見ずに修士修了を迎える者も多くいます。オンラインで講義を受けることができて、キャンパスも見ずに神戸大学生だったという実感もありません。修了を迎えるとは、教える側にいる教員からすれば、気の毒としか言いようがありません。学部学生であっても、4年間の学生生活のうち、半分の期間がそのような状況では、これからの人生においてどのような学生生活を過ごしたのかと聞かれても、ほとんど大学には行きませんでしたとしか答えられないことに気の毒さをおぼえます。以前にも、大学生活が社会に出るまでのモラトリアムのように大学にも行かずにフラフラしていた学生はいましたが、今の学生は、キャンパスに行きたくてもいけない状況にあり、事情は全く異なるものになっています。飲食店の時短営業、イベントの人数制限などは解除され、一見すると国内での生活はコロナ前に戻っているかのような様相を呈していますが、キャンパス・ライフは戻っていません。本当に一日でも早く、元の日常生活に戻ることを祈念する次第です。

(常務理事、法学研究科教授 井上典之)

いつも皆様のご寄附誠にありがとうございます

前号でご報告させていただいた以降、11月9日現在でのご報告となりますが、多くの皆様からご寄附をいただいております。誠にありがとうございます。

金額別に、野村真利様(平31経済)、仁谷 元様(昭60法)各3千円、岡田富美夫様(昭48法)、山口裕康様(昭61経営)、杉本重之様(平7法)各5千円、溝口文雄様(昭36経済)、森原大造様(平3法)、向田俊彦様(昭49経営)、児玉 浩様(昭31法)、前北隆幸様(平22法院)、宮崎 薫様(昭54経済)、中村滋彦様(昭60経済)、高橋 潔様(昭32経営)、小林和雄様(昭48経営)、橋本 隆様(昭31経済)、鳥原和憲様(昭41経済)、岡本光弘様(昭31法)、三和正明様(昭42経営)、菊永福芳様(昭48経済)、野村 博様(平23経済院)、小野知己様(昭53経済)、秋山伸子様(昭35経済)、秋山喜三郎様のご令室、堀野 勲様(昭37経済)、香川次朗様(昭51経済)、大西茂雄様(昭42経済)、後藤勝美様(昭51経済)、水上明彦様(昭45経営)各1万円、池永 晃様(昭37経営)、石原 滋様(昭37経済)、藤原潤一様(昭46法)各2万円、根本政徳様(昭36経済)、小西 肇様(昭42経営)、川島和平様(昭38経営)、安中一雄様(昭32法)、林 莊八郎様(昭38経済)、的場元信様(昭44経営)、東田正夫様(昭44経営)各3万円、義凌会会長・山科 威様(昭30経営)3万8千円、本多誠一様(昭44経営)、藤田一幸様(昭54経済)、鶴 浩一様(昭32経済)、戸田 宏様(昭38経済)、山下 力様(昭38経営)、福本哲也様(昭32法)、坂根利彦様(昭40経営)、吉井昌彦様(昭56経済)各5万円、矢田 博様(昭30経済)、宮野 淳様(昭42経営)、天野善生様(昭52経済)各10万円、栗木 契様(平

3経営) 15万円、(有) シークス渡部 進様100万円をご寄附いただきました。誠にありがとうございます。

また、毎年、社会科学系4研究科及び経済経営研究所の先生方にお願ひしているご寄附についても次のとおり頂きました。部局順に法学研究科先生方46名の13万8千円、経済学研究科先生方34名の10万5千円、経営学研究科先生方52名の15万6千円、国際協力研究科先生方23名の6万9千円、経済経営研究所先生方22名の6万6千円です。毎年、先生方には大変ありがとうございます。

お陰様で、本号で新たに報告できる寄附金額は239万9千円になりました。新年度4月以降の寄附金額は644万5千500円になりました。厚くお礼申し上げます。

毎回お願いしています寄附金の送り先は左記のとおりです。

また、本財団ホームページからもご寄附(クレジットカードによるご寄附、インターネットバンキングによるご寄附等)いただけますのでご利用ください。よろしくお願ひ申し上げます。

◎銀行送金の場合(銀行からの連絡が遅く、領収書送付が遅れないようにするため、お葉書でも電話・FAXでも結構ですから、送金のことについて事務局にご一報ください)

銀行名 三井住友銀行六甲支店

口座番号 普通預金 4069496

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

◎郵便振替の場合(通信欄に卒業年次と出身学部をご記入ください)

口座番号 0098019116772

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

◎本財団ホームページからのご寄附

ホームページ「ご寄附」のWEB申込みフォームからご寄附いただけます。<http://www.rokkodaifund.com>

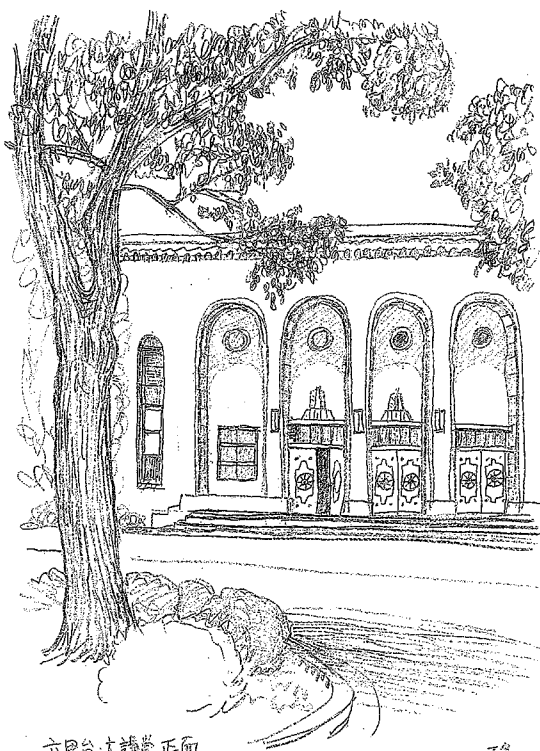
〒657-0068

神戸市灘区篠原北町4-11-5

公益財団法人神戸大学六甲台後援会事務局

電話・FAX (078) 861-3013

E-mail: k-koenkai@rokkodaifund.com



六甲台大講堂正画

珠